

「本山寺山森林づくりの会」活動報告

武田 壽夫

2016年5月29日（日）9:30～16:00

作業項目：1）ナラ枯れ対策

2）常緑樹天然林の除伐

前回同様の臨時作業日、勢い参加者は少なくならざるを得ない。この日は3名だった。午後に雲が広がり、3時過ぎには細雨もあったが、天候はマズマズで物置小屋周辺のナラ枯れ対策から始める。

これはカシナガの潜入・飛散防止策の更新を行うもので、昨年施したシートを剥がし、虫の痕跡を観察した上で新しい濡れタオルを巻き、その上からラップを覆い巻きして行く。枯死が近いのではと思っていた一本が若い枝葉を葺き出しているのに気付く、この「濡れタオル方式」に一定の効果が見られることに意を強くした。物置周辺と44林班は-02の自然歩道沿いで約20本を更新。

併せて午後は歩道沿いの微高所で常緑樹の除伐を試行。保全対象の落葉広葉樹やモミ、ツガ、アカガシ等の天然林の育成を助ける為、枝葉が繁茂して林床への日差しを遮るアセビ、ヒサカキ、ツバキ等を減らそうとの主旨である。幹が堅く切り難い、枝が多く倒れにくい、枝の処理に手間取る等々、難儀さに変わりはない。事前の枝打ちやロープも必要で、それでも10本程は処理出来た。小人数にしては捗った一日だった。

日曜日、ポンポン山への銀座通り、ハイカーの問い掛けも多い。都度、ナラ枯れ対策について懇切に説明。森づくり活動への理解を広げる機会を得たのも成果の一つ。

【参加者】

斧田一陽 武田 壽夫 福井 誠 計3名



① 集合写真



② ナラ害防止のテープを巻く
東海自然歩道沿いのコナラ



③ ナラ害防水成功 昨年ビニールシートを巻いたコナラ